



## 喜多の埜

## 敬老の日

今月十七日は敬老の日です。日本の祝日はその多くが、過去に祭礼のあった日であるとか、何かの記念日である場合が殆どですが、この敬老の日はその定められた経緯がまったく異なる祝日です。そもそも、この敬老の日の元となったものは、兵庫県多可郡野間谷村の門脇村長が、農閑期にご老人方を労わろうと、昭和二十二年に「としよりの日」を提唱された事に端を発し、その後、各地でも敬老運動が活発化。そして昭和四十一年に国民の祝日として「敬老の日」が定められました。ですので、純日本産の記念日であり、諸外国ではこのような敬老の日というものは無いそうです。長寿国日本が世界に誇るべき祝日と、いつても過言ではないこの日、親類は元より、身近なお年寄りを労わり、今日の日本を育ててくれた感謝の気持ちを持ちたいものです。

## 中秋の明月

今月二十五日は十五夜こと中秋の明月です。伝統を大事になさるご家庭ではお団子をお供えし、お月見をされておられるかと思えます。しかし、今月の本当の満月は二十七日であり、二十五日の十五夜は満月ではなく少し欠けた月になります。これは旧暦の閏月の具合で、実際の満ち欠けと暦とが若干のズレを生じた為です。例年一日ほどズレが生じるのですが、今年のように二日ずれるのは珍しく、ある意味貴重な十五夜です。ご家庭でも「暦の不思議」を考える良い機会かもしれませんね。

## 九月の二十四節季

日本には春夏秋冬の四季がありますが、この四季を太陽の運行に基き、現在の暦とも合わせて更に細分化したものが二十四節季で、一ヶ月を二季に分けています。

この九月には白露（はくろ）と、秋分（しゅうぶん）という名の二季があります。

白露とは九月八日頃から秋分までの時期で、大気が冷えてきて露が出来る頃とされませんが、実際は残暑厳しくまだまだ秋という雰囲気はありません。しかし、湿気の観点からいえばこの頃を境に湿度は下がり、だんだんと涼しい風が通るようになるそうです。ちなみにこの頃から燕が南に帰り始めます。

秋分は九月二十三日頃で、皆様ご存知の通り、三月の春分の日と同じく昼夜の時間がほぼ同じになる日です。しかしこれは天体上の秋分であって、実際地上ではこの日は昼の時間の方が十四分ほど長いそうです。これは大気による太陽光の屈折の関係で起こる現象で、天体上は二十三日頃が秋分ですが、地上の人間にとってはその四日頃の二十七日あたりが最も昼夜の差が小さくなる日だそうです。

この九月は風光そよぐ季節といえそうです。

## 神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、  
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀知

